

人間を好きになれ

第23回
上海国際映画祭
正式招待作品

第16回
ロサンゼルス日本映画祭
招待作品

監督・脚本・高橋伴明 原作・長尾和宏
在宅医と患者と家族の物語

「痛くない死に方」(テックマン社)

痛くない死に方

柄本 佑

坂井真紀 余貴美子

大谷直子 宇崎竜童 奥田瑛一

大西信満 大西礼芳 下元史朗 藤本泉 梅舟惟永 謙訪太朗

田中美奈子 真木順子 亜湖 長尾和宏 田村泰二郎

東山明美 安部智凜 石山雄大 幕雄仁 長澤智子 鈴木秀人

製作・長尾和宏／内報朗／人見剛史／小林夫生和／田中幹男

プロデューサー・見留多佳城／神崎良／小林良／
アソシエイタードューサー・鈴木祐介／角田陸

企画協力・小宮雅里 音楽・吉川忠美 撮影・照明・今井哲郎
助監督・丸尾知行 録音・西條博介 編集・鈴木歎

助監督・毛利安孝 制作担当・植野亮 衣裳・青木茂
ヘア・スタイル・結城春香 医療協力・遠矢純一郎／井尾和雄
制作・G・カンパニー 配給・宣伝・洪谷プロダクション

製作委員会
製作「痛くない死に方」製作委員会

2019 JAPAN 51ch DCP 112min

<http://itakunaishinikata.com/>



終末の伴走者と、どう出会い、関わられるのか：

「病院」だって「在宅」だって、それを動かすのは、人。病という対象物としてだけでなく、人が人を見取るということを真ん中に置けたら：死を目前に「選択」の嵐が訪れる時、何を最も大切にしたいのか？そこを見据えていれば、最期まで、その人らしく生きることができると、この映画は囁いてくれる。

内田也哉子（エッセイスト）



INTRODUCTION 医学の進歩に伴い、「延命治療」が可能になった。

そこにはかつてあった自然な死は最早存在しない。昔の日本は死に方を選べなかった。

生き方も同様かもしれない。しかし選択肢が広がったはずの今も、人は死に方を選べないジレンマ、アイロニーを抱えてはいないだろうか。

在宅医療のスペシャリストであり実際に尼崎市で在宅医として活躍をされている長尾和宏著の10万部売れたベストセラー「痛くない死に方」「痛い在宅医」をモチーフに高橋伴明監督が完全映画化。主演に日本映画界の注目の俳優の柄本佑。その他、坂井真紀、余貴美子、大谷直子、宇崎竜童、奥田瑛二など豪華キャストが集結。いつかは自分の親や自分自身に訪れる終期について考えさせられる、必見の一作が完成した。

2021年2月に公開した本作ですが多くの再上映を望む声に押されてアンコール上映することが決まった。今回の上映は通常盤に合わせてバリアフリー版の上映も行います。

STORY 在宅医療に従事する河田仁（柄本佑）は、日々仕事に追われる毎日で、家庭崩壊の危機に陥っている。そんな時、末期の肺がん患者である井上敏夫（下元史朗）に出会う。敏夫の娘の智美（坂井真紀）の意向で痛みを伴いながらも延命治療を続ける入院ではなく“痛くない在宅医”を選択したこと。しかし、河田は電話での対応に終始してしまい、結局、敏夫は苦しみ続けてそのまま死んでしまう。「痛くない在宅医」を選んだはずなのに、結局「痛い在宅医」になってしまった。それなら病院にいさせた方が良かったのか、病院から自宅に連れ戻した自分が殺したことになるのかと、智美は河田を前に自分を責める。

在宅医の先輩である長野浩平（奥田瑛二）に相談すると、病院からのカルテでなく本人を見て、肺がんよりも肺気腫を疑い処置すべきだったと指摘される河田。結局、自分の最終的な診断ミスにより、敏夫は不本意にも苦しみ続け生き絶えるしかなかったのかと、河田は悔恨の念に苛まれる。長野の元で在宅医としての治療現場を見学させてもらい、在宅医としてあるべき姿を模索することにする河田。大病院の専門医と在宅医の決定的な違いは何か、長野から学んでゆく。2年後、河田は、同じく末期の肺がん患者である本多彌（宇崎竜童）を担当することになる。果たして、「痛くない死に方」は実践できるのか。



<http://itakunaishinikata.com/>

関西地方
アンコール上映決定

※バリアフリー上映(日本語字幕付)の上映は劇場HPをご確認ください

12月10日(金)～

なんばパークスシネマ

050 (6864) 7125

12月10日(金)～

神戸国際松竹

078 (230) 3580

12月10日(金)～

京都シネマ

075 (353) 4723